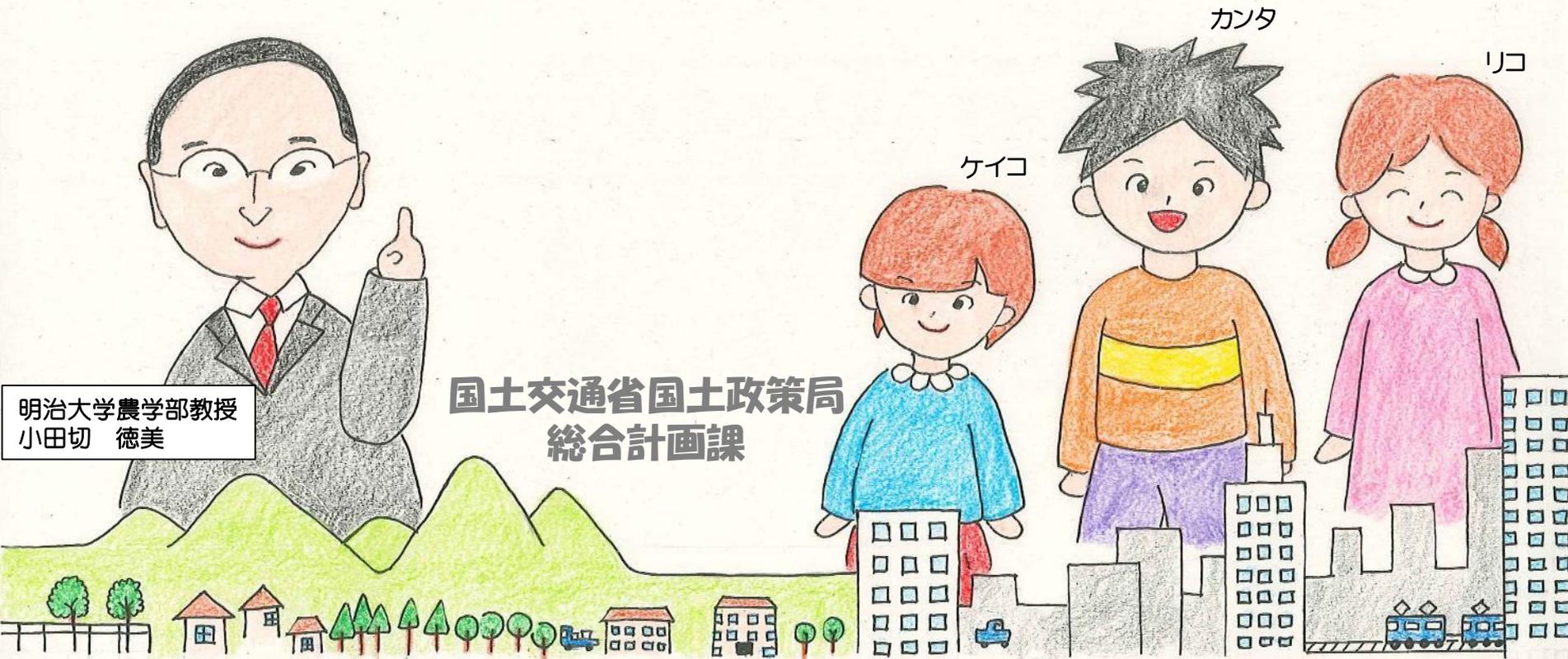


マンガでわかる！

カンタとケイコが学ぶ「関係人口」



明治大学農学部教授
小田切 徳美

国土交通省国土政策局
総合計画課

実はね、ケイコがクイズ番組の視聴者プレゼントクイズに応募したいみたいなの。でも、問題が難しくくて。

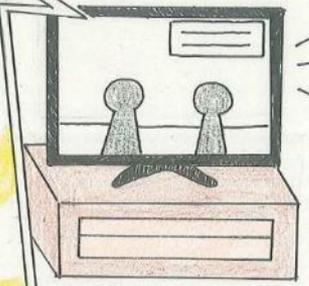
リコ、どうしたの？



なるほど、どんな問題？

さあ、視聴者へのチャレンジ問題です！正解者には抽選で豪華景品をプレゼント。それでは問題です！

リコの妹のケイコがテレビ番組を見ていました。

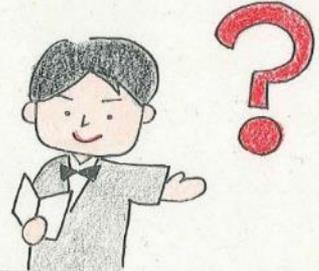


ええっと。どんな問題だっけ。

確か、なんとか人口でもなく、かんとか人口でもない人口を何という？みたいな問題だったんだけど。

こんなんじゃ分からないよね。

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者といえば、何人口 というのでしょうか？



問題

つながりがうくる地域の未来

—ヨソモノ・ウチモノのつながりが創る新

日時 2019年 1月15日(火) 14:00

会場 建築会館ホール(料研)

定員 200名(お申込み先着限)

後日...

ちょうどいいや、国土交通省主催でシンポジウムが1月15日(火)に開催されるみたいなんだけど、一緒に行こうってケイコちゃんを誘ってみてよ。

そこに行けば答えが見つかるかもしれないよ、って！

ははーん。分かったかも。



そうだ、物知りのカンタ君なら知ってるかも。ちょっと電話してみるね。



そうですね。
今日のシンポジウムでは、
「関係人口」という言葉を
学んでいってもらえたら
嬉しいな、と
思っています。

関係人口

かんけい じんこう

先生、
今日のシンポジウムのポイントを
ズバリ教えてください！

おや、もしかして、
キミはカンタ君じゃないですか？

カンタ君とケイコちゃんは、
シンポジウム
「つながりがつくる地域の未来」の
会場にやってきました。

「関係人口」というのはね、
「地域に関わってくれる人たち」
のことを言います。

「関係人口」ですか！？
初めて聞く言葉です。

カンタ君は有名人だからね。
「マンガでわかる！ 国土管理
～カンタとリコの訪問記」
での活躍、
いつも楽しみにしているよ。

あれ、もしかして
明治大学の
小田切先生ですか？
なぜ僕の名を…？

関わってくれる人たち、
ですかあ？
まだイメージが
つきません。

明治大学農学部
教授
小田切 徳美

※詳細は宮城県大崎市編を参照

はい。お姉ちゃん、
取組を聞いてすごく
感動したみたいで。

茶碗1杯に6円だけ多く払えば、
農村の風景を守るために
貢献できるんだよ。

そういえば、リコちゃんが、
宮城県大崎市の鳴子の米
プロジェクトの取組について
学んでいましたよね。

何度も家族や
学校の友達に
宣伝していました。

6円多く払うと言っても、コンビニの
おにぎりよりも、こんなに安いんだよ！

鳴子の米
プロジェクトの農家
茶碗1杯=24円
農家の収入=18円

一般的な農家
茶碗1杯=18円
農家の収入=12円

ああ、リコちゃんの妹さんが。
お姉さん、いつも
いい質問をしているよね。

おや、
となりのお嬢さんは
初めて見るね。

お姉ちゃんのことも
ご存じなんですね！
感謝です！

はっ、はじめまして。
私、リコ姉ちゃんの
妹のケイコと
いますっ！

よく気づきましたね。ケイコちゃんの家族は、この階段で言う一番低い位置の「関係人口」になるかな。

この「関わり」の階段が、関係性の深さを表しているのですね！

関わりの階段

二地域居住

定期的な訪問

特産品購入
ふるさと納税
(寄 附)

ケイコ お米購入



それで、我が家では鳴子の米プロジェクトのお米を購入することにしました。

それはとても良いことですね。



「関係人口」の中にも、関係の深さによって、色々な段階がありそうですね。その地域の人々が漠然と好きという人よりも、頻繁に通っているような人の方が、関係性が深い気がします。

なるほど。それならば、ケイコちゃんの家族はまさに、鳴子の米プロジェクトの人たちにとっての「関係人口」ですね。

地域に住んでいなくても、その地域のことを応援してくれるような人のことを「関係人口」と呼ぶんです。



そっかぁ。低い位置なんですね。

定期的な訪問

関わりの階段

特産品購入
ふるさと納税
(寄 附)



あらう...

無関係

この図の「移住」でもない「無関係」でもない領域の人達が、「関係人口」ですね。

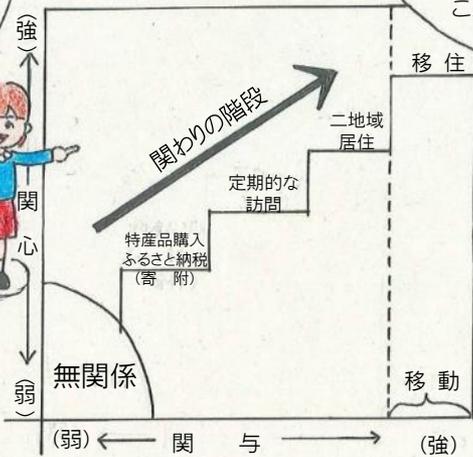
それは良い質問ですね。今のカンタ君の話を図で表してみると、こんなイメージになると思います。

いえいえ。低い位置の階段が、実はとても大事なんですよ。一段一段がものすごく高い階段を想像してみてください。一部のアスリートみたいな人しか登ることができませんよね。

よいしゅと！

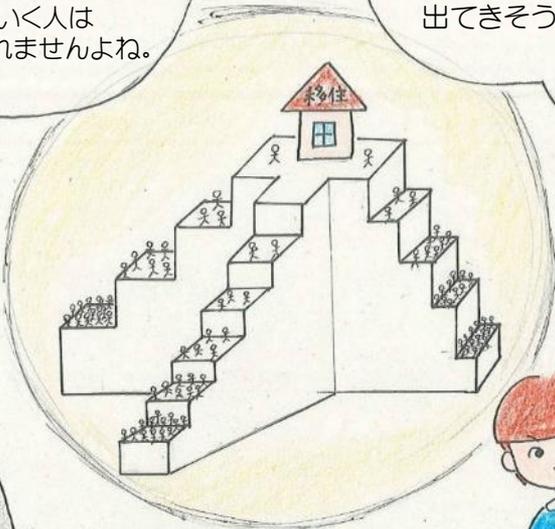
定期的な訪問

無関係



そうですね。
それでも、最終的に
移住するところまで
階段を登っていく人は
一握りかもしれませんよね。

色んな階段があると、
やがては移住しようかな、
という人も
出てきそうですね。



はい。
でも、次の段が低ければ、
登ってみようかな、という人も
出てきますよね。

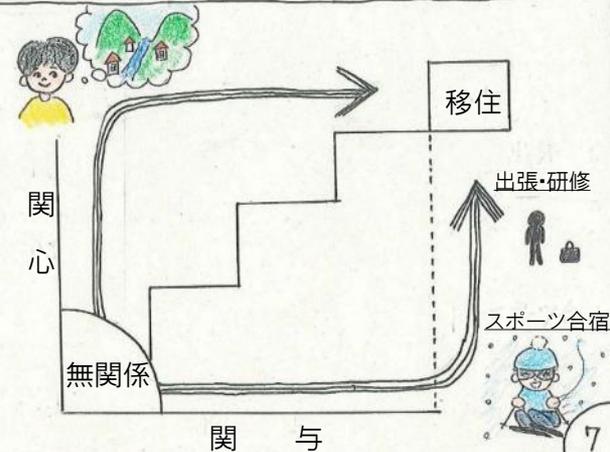
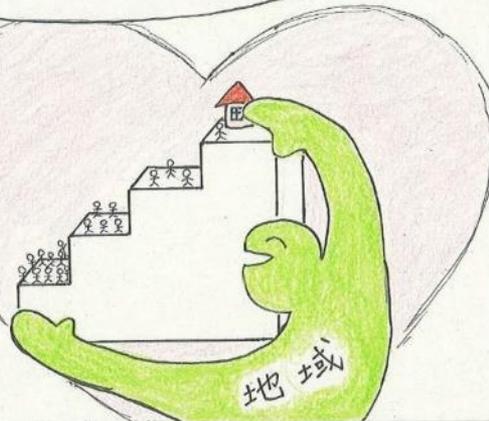
確かに。
いきなり頻繁な訪問や
二地域居住ができる人は
限られそうです。

ケイコちゃんの家族が、
一段上の階段に
登った証拠ですね。

確かに！
移住するってイメージは全然沸きませんが、
今度家族で鳴子の交流イベントに
行ってみようって話になってますもん！

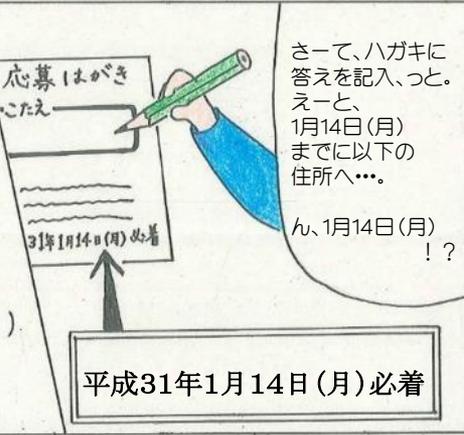
だから、地域の側では、
移住してくれる人だけを大切にするのではなく、
階段の途中にいる様々な人たちとの関わり合いを
大切にしていくことが重要になってくると思います。

また、いろんな階段があった方が良いと思うんです。
地域への思いが先にどんどん深まっていくような階段があってもよいし、
地域への思いは少なくとも、
関与が先にどんどん増えていくような階段があってもよい。





ケイコ、まさか…。



応募はがき
こたえ
3月14日(月)必着

さーて、ハガキに
答えを記入、つと。
えーと、
1月14日(月)
までに以下の
住所へ…。

ん、1月14日(月)
!?

平成31年1月14日(月)必着



今日は「関係人口」について
色々学ぶことができました。
自分でも、気になった地域への
「関わりの階段」を
探してみようと思います！

そうです。
これからは人口が
減少していきますから、
「関係人口」がさらに
大切になっていくと
思いますよ。



なるほど。
移住先は一つに絞られますけど、
「関係人口」ならいくつもの地域とも
関わられますもんね！



なにに、
教えてよ～。

まあいっか、
今日は豪華景品よりも
大切なものを学んできたしね。



がぁーん。締切りが過ぎてる…。



(シンポジウム終了後…)

はい！！

今日のシンポジウムで
「関係人口」への理解を
さらに深めていってくださいね！



へえへえ、なんでなんで？

ふたりの会話は延々と続きました。

(おしまい)



お姉ちゃん、うちの家族はねえ、
鳴子の米プロジェクトの
「関係人口」なんだよ。



やたら元気じゃな。
クイズの答えが
分かったのかな。

もちろん！！
答えは、「関係人口」です☆

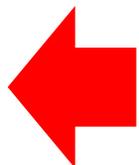
お姉ちゃん、ただいまー！！

本編「マンガでわかる！国土管理～カンタとリコの訪問記」の
[Facebookページ](#)も開設しています。
マンガの新作をアップしていく予定です。

たくさんの皆様の「いいね！」をお待ちしています！

○ Facebookページはこちらです。

<https://www.facebook.com/mlit.kokudokanri/>



Facebookページに
リンクします

○ 国土交通省HPにも掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000096.html

